

女性の新しい価値観に対応したリアルな日常着 新インポート編集売場「COMPOLUX」誕生

働き方、ライフスタイル、結婚や子育て・・・現代女性の生き方には選択肢が増え、多様化していると言われます。こうした中、今どきの女性は従来の服選びの決まりごとから離れた高いファッション性と個性を求める傾向があると考えられます。今回そごう・西武では、旧来の婦人服売場ではカバーしきれないこうした需要に対するひとつの答えとして、新しい売場を立ち上げます。名称は「COMPOLUX(コンポラックス)」。コンテンポラリーとラグジュアリーを掛け合わせた造語です。ラグジュアリーなインポートウェアを等身大のリアルクローズとして取り入れていただきたいというご提案です。

世界基準のコンテンポラリーブランドを集め、ファッション通にはお馴染みのブランドから、注目の若手デザイナーによるブランドまで、全20ブランドを自主編集。今秋は第一弾として西武渋谷店に導入。今後基幹各店で展開も検討してまいります。

展開概要

- 導入時期: 2013年10月下旬
- 導入店舗/フロア: 西武渋谷店 B館3階
- 展開面積: 330㎡
- 展開ブランド数: 衣料品約20ブランド ほか雑貨数ブランド
- 展開ブランド: カルヴェン、アクネ(2014年春夏から)、3.1フィリップリム、ティスケンスセオリー、ラグ&ボーン、10クロスビー 他

<20ブランドから「使えるトレンド服」をチョイス>

当社の女性バイヤーが、働く女性として自らも着たいと思える服を買い付け。NYを中心に今が旬の20ブランドから、トレンドを取り入れながらも一過性にならない、バランスのよいアイテムを厳選しました。

<ブランドの垣根を越えた服選びを実現>

ブランドごとの仕切りを極力排した売場では、垣根を越えた接客を重視。トップスとボトムズ、インナーとアウターを別ブランドで組み合わせるといった、自主編集ならではの自由な選択を楽しめる販売体制をめざします。

<売場環境は今話題のデザイナーが担当>

売場の什器および環境は、デザイナー・建築家として多方面で活躍し、注目のクリエイターである佐藤オオキ氏が率いるデザイン集団「nendo」が担当。服選びを特別な体験にするスタイリッシュな空間を実現。

